

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年7月12日 NO.31

オー君 「あー！はらへったなー。何か食べるものはないのかな。」

花ちゃん 「くいしんぼうのオー君。さっき給食を食べたばかりじゃないの。」

オー君 「ピーマンやナス、ニンジンなどが多くて、あまり食べられなかったのさ。」

花ちゃん 「それがいけないのよ。給食センターのおじさんやおばさんがいっしょうけんめいに作ってくれたのに、残すなんていけないことですね。モンタ博士！」

モンタ博士 「そのとおりだ。どうやらオー君は野菜（やさい）がきらいなようだね。」

オー君 「でも、少しずつ食べられるようにはなったんだけど。野菜もおいらのことをすきじゃないみたいだし……。」

花ちゃん 「何いっての！きちんと食べないとダメですよ。ところで、モンタ博士、野菜っていったい何ですか。」

モンタ博士 「うーん。ちょっとむずかしいね。まあ、あえて言えば、『人間が栽培して調理して食べる植物』かな。」

オー君 「え！野菜も植物だったんだ。」

花ちゃん 「野菜といっても、わたしたちはいろいろな所を食べたりしているんですね。」

モンタ博士 「花ちゃん。いいところに気がついたね。野菜はいろいろあってね、果菜類（かさいるい）といって実を食べる物があるんだ。例えば？」

花ちゃん 「わくわくドキドキ農園のキュウリ・トマト・トウモロコシ。それからダイズ・カボチャなどもですね。」

モンタ博士 「それから、葉・くき・つぼみを利用する葉菜類（はさいるい）もあるよ。」

花ちゃん 「キャベツ・アルパラガス・ネギ、それからホウレンソウなどですね。」



モンタ博士「そのとおり。そして、さらに、根や地下のくきなどを食べる根菜類（こんさいるい）では、わくわくドキドキ農園のサツマイモ。それに、ニンジンやダイコンもだよ。ところで、ここで二人にクイズを出してあげよう。ちょっとむずかしいけど、植物の仲間（なかま）あてクイズだ。がんばって！」

花ちゃん 「何のなかまかを考えて、1から17の番号を書けばいいのですね。」

果菜類（かさいるい）	番号	葉菜類（はさいるい）	番号	根菜類（こんさいるい）	番号
ブロッコリー		ハクサイ		ダイコン	
ナス		シュンギク		ジャガイモ	
カボチャ		セリ		サツマイモ	
エンドウ		アサツキ		キクイモ	
ナンキンマメ		コマツナ		ゴボウ	
カンピョウ		アスパラガス		コンニャク	
インゲン		フキ		サトイモ	
オクラ		ミョウガ		カブ	
トマト		ミツバ		ニンジン	
アズキ		クレソン（オランダガラシ）		レンコン	
キュウリ		ニラ		ウド	
メロン		セロリ		ショウガ	
ササゲ		ネギ		タマネギ	
ピーマン		キャベツ		ヤマユリ	
マクワウリ		パセリ		ラッキョウ	
ダイズ		レタス		ワサビ	
ソラマメ		シソ		ニンニク	
スイカ		ホウレンソウ		ウコン（ターメリック）	
トウガラシ		モロヘイヤ		ヤマイモ	

1－キク科 2－ユリ科 3－ショウガ科 4－アブラナ科 5－セリ科
 6－ナス科 7－ウコギ科 8－キンポウゲ科 9－アカザ科 10－シソ科
 11－ヒルガオ科 12－ウリ科 13－マメ科 14－サトイモ科 15－ハス科
 16－アオイ科 16－シナノキ科 17－ヤマノイモ科 ※（APG分類体系ではない）

（答えは…次号で！三日間もお休みがあるので、おうちの人とやっても楽しいよ。）

栽培植物について

栽培植物は人類がその知恵によって作り出してきたものであり、長い歴史の中からその起源を尋ねる時に人類の歩んできた道の一部を知る事ができるのである。野菜は、その食べる部分によって、果菜・葉菜・根菜に分ける事ができる。しかし、必ずしも、本来の根・茎・葉でない場合もある。ジャガイモがよい例であり、ポテトとして食べる所は根ではなく、茎である。

野菜は科によりそれぞれの特徴がある。アブラナ科は辛く、キク科は苦く、シソ科・セリ科には香りがあるものが多い。また、キンポウゲ科・トウダイグサ科・ケシ科などには毒のあるものもかなり多いので注意を要する。野菜嫌いという言葉があるが、好き嫌いの個人差がある科は、ユリ科・ナス科などがあり、その反対にあまり好き嫌いの個人差のない科としては、アブラナ科・キク科・ウリ科・マメ科などがある。植物を食物として見ることもなかなか興味深いことである。